

末吉高校 俳句大会で学校賞受賞



受賞の喜びをみせる末吉高校の皆さん

12月14日、「第17回南九州市かわな
べ青の俳句大会」で学校賞を受賞した
末吉高校の皆さんが市長へ報告に
来られました。

全国から約12万5千句の出品があ
り、4人の作品が入賞しました。結果
は、同校3年の富永華蓮さんが鹿児島
県俳人協会賞。米澤春香さん、東まり
あさん、岩重昌代さんがそれぞれ特選
を受賞しました。

【鹿児島県俳人協会賞】

末吉高等学校3年 富永華蓮

「不機嫌な父の背中に積乱雲」

県作文コンクールで特選に輝く



賞状を手にし笑顔をみせる上迫さん

11月10日に開催された「第58回鹿児島
県児童生徒作文コンクール」で曾於
高校2年の上迫早夏さんが特選を受
賞しました。

「これから、いつまでも」と題し
た作文を審査員は「家族全員の髪を
切っている母親の『かあちゃん床屋』
を通して、筆者の家族への思いが飾ら
ない言葉で述べられている」と評価し
ています。上迫さんは「我が家の日常
生活を題材にしました。今回の受賞が
母への恩返しになればと思います」と
話しました。

県理科研究大会で最優秀賞



科学部の皆さん

11月に行われた「第22回鹿児島県高
等学校生徒理科研究発表大会」で曾於
高校科学部が最優秀賞に輝きました。
ネオジム磁石を使用したガウス
加速器の揺らぎについて研究を行
いました。実験期間は2カ月。約1万回
鉄球をぶつけてデータを取り、丁寧な
解析が高く評価されました。

研究を行ったのは大峯亜梨沙さん、
前田麻衣さん、有野円佳さん、上ノ瀬
未菜さん、西川美奈さんの5人。大峯
さんは「実験は大変だった。全国1位
を目標に頑張ります」と話しました。

難関 日商簿記検定2級に合格



合格証書を手にする坂元さん(左)と鶴田さん(右)

第141回日商簿記検定の2級に
曾於高校1年の坂元さくらさんと鶴
田華帆さんが合格しました。

今回の合格率は、例年の平均合格率
30%を大きく下回る11.8%。ここ10
年で最も厳しい合格率の回となりま
した。会計コースに所属する2人は、
毎日最低3時間は予想問題や過去問
を解き、夏休みには合宿を行うなど
休日返上で検定に向けて取り組んで
きました。坂元さんと鶴田さんは「努
力が実りほっとしました。1級に向け
て頑張ります」と話しました。



タイヨー前で募金活動を行う団員

ボーイスカウト・ガールスカウトが募金活動

12月20日、ボーイスカウト、ガールスカウトがスーパードールなど4カ所で歳末助け合い募金活動を行いました。

この奉仕活動は、同団が発足した昭和44年から毎年行われています。当日は約20名の団員が募金を呼びかけました。集まった募金は共同募金とユニセフに寄付されました。

募金を呼びかけた木原啓太さん（14歳）は「今回の募金活動で多くの方々の温かい気持ちを預かりました。この募金が世界中で役立つって嬉しいです」と話しました。



瑞宝双光章を受章した田浦さん（左から2番目）

田浦さん「瑞宝双光章」を受章

12月15日、教育長室で田浦祐範さん（大隅町月野）に「瑞宝双光章」が伝達されました。

瑞宝双光章とは日本の勲章の一つで、国や地方公共団体の公務等に長年にわたり従事し、職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、成績をあげた人に対して内閣総理大臣から贈られる章です。

田浦さんは長年教師として教壇に立ち、大隅町立持留小学校の校長を最後に退職。鹿児島県の教育に尽力されました。



谷口教育長（左）と渡辺さん（右）

子どもたちの周りに本があふれる環境を

12月9日、曾於市の子どものために図書を購入してほしいと渡辺紘三さん（大隅町）が100万円を寄付されました。

市では、市民の皆さんや子どもたちの読書活動を支援するために図書購入基金を募り、図書等の購入に役立てています。

渡辺さんは「子どもたちの周りに本があふれ、必要な本が整っている環境作りが重要。できるだけ多くの本を読んでも心豊かな大人に育ってほしいです」と話しました。



コンテストで最優秀賞、優秀賞に輝いた皆さん

おいしいお米をみなさんに

12月21日、市長室で「第8回曾於市米自慢コンテスト」の表彰式が行われました。審査は3つの部門に分かれており、合計で54展の応募がありました。最優秀賞、優秀賞の6名が表彰されました。

部門別受賞者は次のとおりです。

普通作の部最優秀賞	西別府利光さん
減農薬の部最優秀賞	川内留義さん
無農薬の部最優秀賞	長野修治さん
優秀賞	中迫則夫さん
優秀賞	渡邊忠夫さん
優秀賞	中村修一さん

地域による学校支援が認められ文部科学大臣表彰



財部北校区学校応援団地域本部の皆さん

優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰の表彰式が文部科学省で行われ、財部北校区学校応援団地域本部が表彰されました。

財部北小学校は、地域の大人が子どもたちと一緒に授業を受ける「ふれあい授業」を展開。コミュニケーション能力や思考力などの向上につながっています。昨年4月には「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞しており、今回の受賞で地域は更に盛り上がっています。

市P連のつどい 開催



活動報告を行うPTA団体

12月12日、大隅文化会館で「市P連のつどい」が開催されました。

活動報告では大隅南小学校、中谷小学校、岩南小学校、財部中学校がそれぞれ特色あるPTA活動を紹介。部落解放同盟県連合会女性運動部副部長の柳田五月さんが、同和問題・人権問題について自らの体験を交えながら心に響く講演を行いました。

参加者にとって、差別のない地域社会を築いていくための意欲を高め、今後のPTA活動の充実を図るよい機会となりました。

弥五郎どんの絵 寄贈



寄贈された関さんご夫妻

12月14日、大隅支所に弥五郎どんの絵が寄贈されました。

寄贈されたのは鹿屋市在住の関逸郎さん。昭和59年から昭和63年までの5年間、菅牟田小学校に教職員として在職していました。関さんは「当時の校区民との交流が胸に残っています。妻も大隅町出身で思い入れの強い大隅でぜひ飾ってもらえれば」と話しました。

関さんは、吉井淳二記念展や弥五郎どん絵画・オブジェ展等にも数多く作品を出展されています。

次なる目標は「リオ五輪」



リオ五輪出場を目指す稲森さん

12月30日、グランドスラム東京2015で優勝した稲森奈見さん（末吉町出身・三井住友海上所属）が報告に來られました。

稲森さんは5歳で柔道をはじめ、鹿児島南高校3年時のインターハイでは全試合1本勝ちの圧倒的強さで個人優勝を果たしています。昨年のアジア大会では個人銀メダル、団体金メダルを獲得しています。

「リオ五輪に向けて最終選考が続きます。しっかり勝ち抜いて代表内定を決めます」と力強く話しました。



ガイドから説明を受ける参加者（関之尾の滝）

霧島ジオパークトレッキング

12月12日、曾於市観光特産開発センターと都城観光協会が連携して「霧島ジオパークトレッキング」が開催されました。

コースは、大川原峽→三連轟→溝ノ口洞穴→関之尾の滝までの12km。約50人の参加者は、ガイドの説明をききながら6時間かけてトレッキングを楽しみました。昼食には中谷小学校で弁当と豚汁が振る舞われ、疲れた体を癒やしていました。

多くの参加者が「来年も参加したい」と話していました。



多くのツアー客が悠久の森を訪れました

観光客 悠久の森で自然散策

11月25日、28日、29日、12月2日に曾於市で紅葉を楽しもうと約170人のツアー客が悠久の森を訪れました。

曾於市観光特産開発センターが鹿児島市の旅行会社から依頼を受けサポートしました。今年は長雨や気温の影響で紅葉を楽しむことはできませんでしたが、豊かな自然をガイドの説明を聞きながら満喫していました。参加者は「悠久の森は観光地として魅力があります。今度は春の新緑を楽しむに足を運びます」と話しました。



1.8ℓ 2,300円（税込） 900ml 1,200円（税込）

末吉高校 閉校記念焼酎ついに完成

今年3月に閉校を迎える末吉高校の閉校記念焼酎が完成しました。

一昨年6月に米麴用の田植えを行い、昨年9月に原料であるさつま芋を収穫。白金酒造で仕込みを行い、約2年の歳月をかけて焼酎ができあがりました。3月2日の惜別の会で振る舞われるほか指定販売所でお買い求めできます。

【販売所】 予約2/1、販売2/20

▽末吉…道の駅、山元商店、観光特産開発センター

▽大隅…道の駅、味彩館

▽財部…道の駅



説明を受ける「わくわくぽっぽの会」の皆さん

曾於市の観光地を研修視察

12月16日、「わくわくぽっぽの会」（湧水町観光ボランティアガイド）の皆さんが曾於市を訪れ、「曾於市観光ボランティアガイドの会」と交流を図りました。

昨年10月に「曾於市観光ボランティアガイドの会」が研修先として湧水町を訪れており、今回は「わくわくぽっぽの会」が曾於市で研修を行いたいと曾於市観光特産開発センターに依頼があり実現したものです。参加者は「いろいろと参考になりました」と話しました。